

平成28年度北信越高等学校体育大会
第49回北信越高等学校選手権水泳競技大会
兼第84回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会

大会実施要項

主催 北信越高等学校体育連盟・(公財)日本水泳連盟
共催 長野県教育委員会・(公財)長野県体育協会・長野市教育委員会
後援 信濃毎日新聞社
主管 長野県高等学校体育連盟・長野県水泳連盟

1. 期 日

	競 泳	飛 込	水 球
開会式	平成28年7月22日(金) 9時30分		平成28年7月23日(土) 9時30分
競 技	平成28年7月22日(金)～ 7月24日(日) (3日間)	平成28年7月23日(土)～ 7月24日(日) (2日間)	平成28年7月23日(土)～ 7月24日(日) (2日間)
閉会式	平成28年7月24日(日) 15時00分 (予定)		

2. 会 場

【開会式・閉会式・競技】

競泳・飛込 長野運動公園総合運動場総合市民プール (アクアウイング)
〒381-0043 長野市吉田5丁目1-19 TEL 026 (244) 7555
水 球 長野県長野東高等学校
〒381-0022 長野市大豆島2743-1 TEL 026 (221) 8111

3. 競技種目

種 目		男 子	女 子
競 泳	自由形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
	背泳ぎ	100m 200m	100m 200m
	平泳ぎ	100m 200m	100m 200m
	バタフライ	100m 200m	100m 200m
	個人メドレー	200m 400m	200m 400m
	リレー	400m 800m	400m
	メドレーリレー	400m	400m
飛 込	飛板飛込 (3m)	11演技種目 制限選択飛5演技 (各群より難易率合計 9.5 以内) 自由選択飛6演技 〔各群より。但しこの内1演技種目は いずれの群より選択しても可。〕 競技方法…参加者が16名以上の場合は予選・ 決勝に分けて行う。 ・予選6演技 自由選択飛6演技 ・決勝11演技 制限選択飛5演技 自由選択飛6演技	10演技種目 制限選択飛5演技 (各群より難易率合計 9.5 以内) 自由選択飛5演技 (各群より) 競技方法…参加者が16名以上の場合は予選・ 決勝に分けて行う。 ・予選5演技 自由選択飛5演技 ・決勝10演技 制限選択飛5演技 自由選択飛5演技
	高飛込	10演技種目 制限選択飛4演技 (異群より難易率合計7.6以内) 自由選択飛6演技(各群より) 競技方法…参加者が16名以上の場合は予選・ 決勝に分けて行う。 ・予選6演技 自由選択飛6演技 ・決勝10演技 制限選択飛4演技 自由選択飛6演技	9演技種目 制限選択飛4演技 (異群より難易率合計7.6以内) 自由選択飛5演技(各異群より) 競技方法…参加者が16名以上の場合は予選・ 決勝に分けて行う。 ・予選5演技 自由選択飛5演技 ・決勝9演技 制限選択飛4演技 自由選択飛5演技
(注) 決勝は予選12位までの者で行う。(12位が同点で2人以上出た場合は12人以上になることもある) 決勝の自由選択飛は、予選と同一種目を同じ順序で行う。決勝における順位は、決勝の得点合計により決定する。			
水球	参加チーム数により対戦形式を決定し、その競技方法により順位を決める。		

4. 競技日程

(1) 競 泳

第1日 7月22日(金) 競技開始 10時10分

1	男子	800mフリーリレー	(予選)	10	男子	1500m自由形	(タイム決勝)
2	女子	100mバタフライ	(予選)	11	女子	100mバタフライ	(決勝)
3	男子	100mバタフライ	(予選)	12	男子	100mバタフライ	(決勝)
4	女子	100m自由形	(予選)	13	女子	100m自由形	(決勝)
5	男子	100m自由形	(予選)	14	男子	100m自由形	(決勝)
6	女子	100m背泳ぎ	(予選)	15	女子	100m背泳ぎ	(決勝)
7	男子	100m背泳ぎ	(予選)	16	男子	100m背泳ぎ	(決勝)
8	女子	100m平泳ぎ	(予選)	17	女子	100m平泳ぎ	(決勝)
9	男子	100m平泳ぎ	(予選)	18	男子	100m平泳ぎ	(決勝)
		昼 食		19	女子	400mフリーリレー	(予選)
				20	男子	800mフリーリレー	(決勝)

[競技終了予定 17時00分]

第2日 7月23日(土) 競技開始 9時15分

21	男子	400mフリーリレー	(予選)	34	女子	800m自由形	(タイム決勝)
22	女子	200m背泳ぎ	(予選)	35	女子	200m背泳ぎ	(決勝)
23	男子	200m背泳ぎ	(予選)	36	男子	200m背泳ぎ	(決勝)
24	女子	200m自由形	(予選)	37	女子	200m自由形	(決勝)
25	男子	200m自由形	(予選)	38	男子	200m自由形	(決勝)
26	女子	50m自由形	(予選)	39	女子	50m自由形	(決勝)
27	男子	50m自由形	(予選)	40	男子	50m自由形	(決勝)
28	女子	200m個人メドレー	(予選)	41	女子	200m個人メドレー	(決勝)
29	男子	200m個人メドレー	(予選)	42	男子	200m個人メドレー	(決勝)
30	女子	200mバタフライ	(予選)	43	女子	200mバタフライ	(決勝)
31	男子	200mバタフライ	(予選)	44	男子	200mバタフライ	(決勝)
32	女子	200m平泳ぎ	(予選)	45	女子	200m平泳ぎ	(決勝)
33	男子	200m平泳ぎ	(予選)	46	男子	200m平泳ぎ	(決勝)
		昼 食		47	女子	400mフリーリレー	(決勝)
				48	男子	400mフリーリレー	(決勝)

[競技終了予定 17時00分]

第3日 7月24日(日) 競技開始 9時15分

49	女子	400mメドレーリレー	(予選)	55	女子	400m個人メドレー	(決勝)
50	男子	400mメドレーリレー	(予選)	56	男子	400m個人メドレー	(決勝)
51	女子	400m個人メドレー	(予選)	57	女子	400m自由形	(決勝)
52	男子	400m個人メドレー	(予選)	58	男子	400m自由形	(決勝)
53	女子	400m自由形	(予選)	59	女子	400mメドレーリレー	(決勝)
54	男子	400m自由形	(予選)	60	男子	400mメドレーリレー	(決勝)

[競技終了予定 14時30分]

(2) 飛 込

第1日 7月23日(土) 競技開始 12時10分

1	女子	飛板飛込	(予選・決勝)	2	男子	飛板飛込	(予選・決勝)
---	----	------	---------	---	----	------	---------

第2日 7月24日(日) 競技開始 9時00分

3	女子	高飛込	(予選・決勝)	4	男子	高飛込	(予選・決勝)
---	----	-----	---------	---	----	-----	---------

(3) 水 球

第1日 7月23日(土) 9:00~17:30 予定

リーグ戦またはトーナメント戦

第2日 7月24日(日) 9:00~12:30 予定

リーグ戦またはトーナメント戦

[時間的余裕があれば女子のエキシビジョンを入れる]

5. 競技規定

(公財)日本水泳連盟規約(競技規則)による。

6. 競技方法

学校対抗とし、選手権獲得校の決定は以下の方法による。

(1) 競 泳

個人種目は1位8点、2位7点、～8位1点。リレー種目は1位16点、2位14点、～8位2点とし、(同着の場合は、その順位の得点をそれぞれが得るものとする)総合得点の最も多い学校を優勝校とする。

なお、総合得点と同じ時は次の順序に従って順位を決定する。

ア. リレーによる得点の多い学校。

イ. 入賞者数の多い学校。(ただし、リレーは4と計算する。)

ウ. 1位の数。

エ. 2位の数。(以下8位までこれにならう。)

(2) 飛 込

各種目は1位8点、2位7点、～8位1点とし、総合得点の最も多い学校を優勝校とする。なお総合得点と同じ場合は次の順序に従って順位を決定する。

ア. 入賞者数の多い学校。

イ. 1位の数。

ウ. 2位の数。(以下8位までこれにならう。)

エ. 当該入賞者の得点の平均点が高い学校。(得点の平均点は演技数で割ったもので、小数第3位を四捨五入して小数第2位までを算出する。)

オ. 当該入賞者の得点の中で、1種目について最も高い数値を得た者のいる学校。

(3) 水 球

ア. 競技形式

6チーム以下の場合は総当たりリーグ戦、7～8チームの場合は予選リーグ戦・決勝トーナメント戦、9チーム以上の場合はトーナメント戦にて行う。

イ. 試合方法・勝敗、順位の決定

(a) リーグ戦の場合

①勝点制とし、勝者に2点、敗者に0点、引き分けは両者に1点ずつ与え、合計得点の高いチームを上位とする。

②各リーグ内で、勝ち点が同点のチームが生じ順位が決定できないときは、次の順位に従って決定する。

ア. 同点のチーム数が2チームであった場合。

(イ)対象チーム同士における直接対戦による勝者を上位とする。

(イ)対象チーム間の直接対戦が引き分けの場合は、同一リーグ内での対象チーム以外の最高順位チームに対する得失点差の多いチームを上位とする。

(イ)同一リーグ内での対象チーム以外の最高順位チームに対する総得点の多いチームを上位とする。

(イ)次順位のチームに対して同様の方法(まず得失点差・次に総得点)を用いて順位を決定する。

イ. 3チームが同一の勝ち点を持っている場合。

(イ)直接対戦による勝者を上位とする。

(イ)対象チーム間の得失点差の多いチームを上位とする。

(イ)この方法によって対象チームが2チームに減った時点で上記アが適用される。

(イ)同一リーグ内での対象チーム以外の最高順位チームに対する得失点差の多いチームを上位とする。

(イ)同一リーグ内での対象チーム以外の最高順位チームに対する総得点の多いチームを上位とする。

(イ)次順位のチームに対して同様の方法(まず得失点差・次に総得点)を用いて順位を決定する。

③上記②の方法を用いても同点のチームが存在し、かつ全国大会の出場権に関わる場合はペナルティー・スローにより上位を決定し、それ以外の場合は、抽選により上位を決定する。該チームが引き分けしている場合、及び3チーム以上が同じ勝点の場合以下の順序で順位を決定する。

(b) トーナメント戦の場合

①前年度4位までをシードとする勝ち抜き戦を行い、優勝者を定める。

②同点の場合は延長戦(3分-1分-3分)を行う。延長戦の結果なお同点の場合はペナルティー・スローを行う。

③優勝者に1・2回戦で敗れた者が敗者復活戦Ⅰを行なう。

④優勝者に準決勝で敗れた者と敗者復活戦Ⅰの勝者が敗者復活戦Ⅱを行なう。

⑤決勝敗者に準決勝で敗れた者と敗者復活戦Ⅱの勝者が敗者復活戦Ⅲを行なう。

⑥敗者復活戦Ⅲで、敗者復活戦Ⅱの勝者が勝った場合は、決勝戦の敗者との間で第2代表決定戦を行なう。

⑦決勝での勝者を優勝者、第2代表決定戦の勝者を2位、敗者復活戦Ⅲの勝者を3位、敗者を4位とする。

⑧第2代表決定戦が行われなかった場合は、決勝の敗者を2位、敗者復活戦Ⅲの勝者を3位、敗者を4位とする。

ウ. 組み合わせ抽選会

平成28年7月4日(月)午後3時より、長野東高校応接室にて行なう。

7. 引率・監督

全国高等学校体育連盟の規定に準ずる。

- 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の(1)職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。
- 監督、コーチ等は校長が認める(2)指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
 - (1) 当該校の職員・・・校長、教頭、教諭、助教諭、講師、非常勤嘱託員等「学校教育法第60条」に規定されている者。(非常勤嘱託員は地方公務員法第三条に身分記載)
 - (2) 指導者・・・①の職員及び外部指導者(非常勤講師、スポーツクラブ指導者、社会体育指導者、当該校の卒業生・保護者等)で校長の認めた者とする。
ただし、各都道府県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

8. 参加資格

- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
ただし、休学中、留学中の生徒は除く
- (2) 選手は北信越5県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該種目の大会実施要項により大会参加資格を得た者に限る。
- (3) 上記(1)(2)に定める生徒で、次の条件を満たしていること。
 - ア. 競泳は各県大会の成績で、各種目決勝第8位までの入賞者、及び予選・決勝を問わず全国大会の標準記録を突破した者は、主催団体の推薦を経てその種目に出場できる。(個人種目はフラットレースで突破しなければならない)但し、男子1500m自由形及び女子800m自由形は決勝8位までの入賞者で、参加制限記録は男子1500m自由形を19分55秒19、女子800m自由形10分48秒59とする。フリーリレーは資格取得者を含め6名(補欠は2名まで)、メドレーリレーは資格取得者を含め8名(補欠は4名まで)を申込みことができる。但し、競技の際は個人種目または他のリレー種目に出場する者に交代させることができる。
 - イ. 飛込は(公財)日本水泳連盟の各県加盟団体の推薦を経て申込みものとする。
 - ウ. 水球は各県4位以内のチームで、各県加盟団体の推薦を経て申込みものとする。
- (4) 年齢制限
年齢は、平成9年4月2日以後に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回迄とし同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チームの編成において全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校後の参加資格は、全国高校総体開催基準要項に準ずる。
- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高体連会長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
 - ア. 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、各県高等学校体育連盟が推薦した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ. 上記(4)のアのただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
 - ウ. 全国高等学校総合体育大会開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規定」に準ずる。

【参加資格の別途に定める規定】

- 1. 学校教育法第82条の2、第83条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2. 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. 全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。
また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、北信越大会への出場条件が満たされていること。
 - エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア. 北信越高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入するなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9. 参加制限

(1) 競泳

1校1種目3名以内、1名2種目以内（ただし、リレーは除く）とする。フリーリレーは6名、メドレーリレーは8名（いずれも補欠含む）を申込むことができる。ただし、申込については出場資格を得た4名を必ず含めること。

(2) 飛込

1校1種目3名以内とする。

(3) 水球

1チーム監督1名、選手13名、マネージャー1名とする。尚、エントリーには補欠2名まで申込むことができる。

10. 申込方法

(1) 申込様式

競泳・飛込		水球	
1号様式	種目別参加選手一覧表・・・男女各2枚	2号様式	学校長出場認知書・・・・・・1通
2号様式	学校長出場認知書・・・・・・男女各1通	3号様式	宿泊申込書・・・・・・1通
3号様式	宿泊申込書・・・・・・1通	4号様式	各県参加学校別一覧表・・・・1通
4号様式	各県参加学校別一覧表・・・・1通		
※この他、競泳については、リザルトシステムによるバックアップファイルを入れた所定のメディアを送付するとともに、同ファイルを添付した電子メールを別途指定のアドレスまで送信すること		※この他、大会申込用メディアを添付するとともに、参加選手一覧表を別途指定のアドレスまで電子メールで送信すること。	

(2) 飛込演技種目申込手続きについて

飛込参加者は、所定の演技種目申込用紙に自分が行おうとする飛込演技種目の番号、名称、型、飛板又は台の高さ、難易率を記入して、それぞれの当該競技の前日12時から15時までの間に、飛込プールサイドの「種目申込用紙入れ」の箱に投函すること。なお、予選用及び決勝用を必ず同時に提出すること。

(3) 申込先 第44回北信越高等学校選手権水泳競技大会事務局（競泳・飛込・水球）

〒389-1206 上水内郡飯綱町普光寺156
 長野県北部高等学校 内山 博幸 宛
 Tel 026(253)2030 ・ Fax 026(253)1205

※ 1号様式、4号様式は各県高体連水泳専門部（委員長）で作成し、上記の申込先に送付すること。

※ 2、3号様式は出場校にて作成し、各県高体連水泳専門委員長がとりまとめ、上記の申込先に送付すること。

(4) 参加料 競泳・飛込 1名につき 2,000円（リレー補欠を含む）
 水球 1チームにつき 20,000円

(5) 銀行振込口座

金融機関名 八十二銀行 中軽井沢支店 店番号 352
 口座番号 普通預金口座 口座番号 363326
 口座名称 水泳専門部 代表 内山 博幸

(6) 申込締切 平成28年6月30日（木）正午必着（書留速達）

11. 表彰

優秀な成績を収めた以下の者を表彰する。

(1) 競泳・飛込 個人・・・男女とも各種目8位までの者に賞状を与え、3位までを表彰する。尚、リレー種目については泳者4名にも賞状を授与する。

総合成績・・・競泳は、男女とも各部門別に8位までの学校を表彰する。
 優勝校には（公財）日本水泳連盟競泳トロフィーを授与する。
 飛込は、男女とも各部門別に3位までの学校を表彰する。
 優勝校には（公財）日本水泳連盟優勝旗を授与する。

(2) 水球 チーム・・・4位まで表彰する。優勝校には（公財）日本水泳連盟水球トロフィーを授与する。
 1位のチームのみ、エントリーメンバー13名にも賞状を授与する。

12. 宿 泊

(1) 宿泊料金 1泊2食：8,500円(税別) 昼食弁当 800円(税込)

(2) 申込方法

- ア. 所定の様式により1通作成し、各県高等学校体育連盟水泳専門部(委員長)まで送ること。
 イ. 各県高等学校体育連盟水泳専門部(委員長)が一括、書留郵便にて10.(3)の申込先に送付すること。
 ウ. 宿泊場所は決定次第、各宿舎より直接各学校申込責任者宛に通知する。
 エ. 宿泊決定後の人数等の変更については、各学校申込責任者が直接宿舎と連絡を取り、大会事務局へも変更内容をFAXにて報告する。

13. 諸 連 絡

- (1) 監督者会議
- ◆競泳 7月21日(木) 16時00分
アクアウイング 会議室
 - ◆飛込 7月22日(金) 16時00分
アクアウイング 飛込プールサイド
 - ◆水球 7月22日(金) 16時00分
長野東高校 会議室
- (2) 代表者会議 7月22日(金) 競技終了後
 ホテル国際21
 〒380-0838 長野市県町576 TEL 026(234)1111

14. 練習会場

	競 泳		飛 込	水 球
	本プール	サブプール	本プール	本プール
7月21日(木)	13:00 ~ 17:00	13:00 ~ 17:00	13:00 ~ 17:00	13:00 ~ 17:00
7月22日(金)	7:30 ~ 9:10	7:30 ~ 17:30	7:00 ~ 17:30	7:30 ~ 9:00
	競技終了~ 17:30			競技終了~ 17:30
7月23日(土)	7:30 ~ 9:00	7:30 ~ 18:00	7:00 ~ 18:00 但し、競技のない時間帯	7:15 ~ 8:45
	競技終了~ 18:00			競技終了~ 18:00
7月24日(日)	7:30 ~ 9:00	7:30 ~ 13:00	7:00 ~ 13:00 但し、競技のない時間帯	7:15 ~ 8:45

練習開始時間までは会場に入場することはできません。

15. 大会期間中の本部

●7月21日(木)~24日(日)

競 泳	昼間	アクアウイング	長野市吉田5丁目1-19 長野市県町576	TEL 026 (244) 7555
	夜間	ホテル国際21		TEL 026 (234) 1111
飛 込	昼間	アクアウイング	長野市吉田5丁目1-19 長野市県町576	TEL 026 (244) 7555
	夜間	ホテル国際21		TEL 026 (234) 1111
水 球	昼間	長野県長野東高等学校	長野市大豆島2743-1 長野市県町576	TEL 026 (221) 8111
	夜間	ホテル国際21		TEL 026 (234) 1111

16. 連絡事項

- (1) プログラムとランキング表について
 プログラムは参加校については選手数が5名以内は1部、6名以上は2部無償配布する。さらにプログラムを必要とするものについては1部1,200円で販売する。
- (2) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側に行うが、その後の責任は負わない。尚、参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 出場選手は必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は選手の行動についての責任を負うものとする。引率責任者は当該校の教員に限る。

17. そ の 他

各県の観覧場所は5月の代表者会議において抽選決定した場所とする。観覧席でのテントについては一切の使用設置を禁止する。

18. 交通機関

競泳・飛込	JR長野駅 善光寺口	より	バス（長電バス：運動公園行）→運動公園東下車（所要時間30分，480円） タクシー → （所要時間20分，3,000円）
	JR北長野駅	より	バス（長電バス：運動公園行）→運動公園東下車（所要時間10分，210円） 徒歩20分
水球	JR長野駅 東口	より	バス（長電バス：屋 島行）→長野東高入口下車（所要時間20分，400円） タクシー → （所要時間15分，2,000円）

19. 全国大会参加資格

前記8(1)，(2)，(4)～(9)項の他、次の項によって参加資格を得たもの。また、地域大会に申込をした者に限る。

ア. 競泳

(ア) 北信越大会において、各決勝種目第3位までの入賞者、またはチーム。

(イ) 北信越大会において、予選及び決勝を問わず別記全国大会への標準記録を突破した者、又はチーム。

なお、同タイムも含む。

〈(ア)，(イ)の確認事項〉

注1 個人種目では、必ずフラットレースで標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレーの第1泳者による正式計時では標準記録の突破とは認められない。

注2 都道府県大会の記録で出場することは認められない。

注3 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注4 フルリレー及びメドレーリレーは、北信越大会における予選と決勝で出場資格を得たメンバーの中から4名と、別に補欠1名を申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注5 全国大会へのエントリータイムは、北信越大会の予選・決勝のうち早いタイムとする。

注6 女子4×200mフリーリレーの参加は、北信越大会において女子4×100mフリーリレーで参加資格を得たチームとする。申込ができる選手は、女子4×100mフリーリレーに申し込む4名と補員とする。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

(ウ) 各県特別措置

北信越大会において、全国大会の出場資格を得なかった県は、男女各1名を1種目のみ、出場資格者として各県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。出場資格者の男女一方が欠けている場合は、欠けている方について1名1種目の推薦を認める。

注1 推薦は、自由形、平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎの100m、200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目中から、北信越大会において全国大会の標準記録に最も近い記録をマークした者とする。

(エ) 全国大会特別出場措置

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、北信越大会に出場することができない場合は、北信越大会への出場を免除する。リレー種目についても、予選会において代表選手がチームの一員として出場し、全国大会標準記録を突破しているチームは、同様の措置を適用する。

ただし、その理由書（特別措置申請書）を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し、その後、都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は10(3)の申込先へ提出すること。なお、届出者は当該学校長とする。

(ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長

(イ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

(ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長

(エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

上記に関する出場措置は、次のように行う。

1 個人種目について

(1) 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで+派遣選手とする。

(2) 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰り上げを行い、地域の出場者を3名とする。

注 各都道府県の予選から、代表選手を参加制限の人数の中に含めなければならない。

2 リレー種目について

(1) 当該年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用する。(各個人の合計記録は認めない。)

(2) チームとしては、都道府県予選会、地域大会には出場する。地域大会の記録を優先し、突破できなかった場合に適用する(代表選手が出場した場合は除く)。

(オ) 全国大会標準記録

自由形	50 m	24.47	27.25
	100 m	52.85	58.81
	200 m	1:55.31	2:06.43
	400 m	4:04.65	4:25.61
	800 m	-----	9:11.13
	1500 m	16:22.25	-----
背泳ぎ	100 m	59.43	1:04.88
	200 m	2:08.74	2:19.16
平泳ぎ	100 m	1:05.07	1:13.24
	200 m	2:19.68	2:36.50
バタフライ	100 m	56.55	1:02.89
	200 m	2:05.04	2:18.19
個人メドレー	200 m	2:09.49	2:22.63
	400 m	4:33.44	5:03.14
フリーリレー	400 m	3:37.22	4:02.26
	800 m	7.54.56	-----
メドレーリレー	400 m	3.58.72	4:26.16

イ. 飛込

(ア) 北信越大会において各競技種目の第1位の者。

(イ) 北信越大会において上位6位までの順位の中で標準点数を突破した者。(同点可)

※審判員は、A級又はB級・C級審判員によって構成される。(C級審判員については(財)日本水泳連盟飛込公認審判員の承認を受けること。)

(ウ) 標準点数

種目	男子		女子	
	飛板飛込(3m)	11演技	305.00	10演技
高飛込	10演技	270.00	9演技	245.00

ウ. 水球

北信越大会の成績によって上位2位までのチーム。

大会宿泊要項

1. 総 則

- (1) [第49回北信越高等学校選手権水泳競技大会]に参加する各県選手団等の宿泊についての総合計画取扱い基本方針、及び宿舍割当等の業務を定める。
- (2) 宿舍割当の業務は北信越大会事務局宿泊係（以下事務局）が指定業者と連絡を密にし、宿泊の業務を担当する。
- (3) 宿泊に関する紛議等が生じた場合は、事務局が調停斡旋を行うものとする。
- (4) 大会関係者の宿泊申込は事務局にて行うものとする。

2. 宿泊の基本方針

- (1) 宿泊は長野市及び、その近郊の旅館・ホテル・公共施設とする。
- (2) 宿泊者1人当たりの畳数は選手・監督にあつては1.5畳とする。
- (3) 宿泊申込をした者については、指定した宿舍の変更を認めない。任意の変更したことによって生じた全ての紛議や損失は、任意変更した者がその責任を負うものとする。

3. 宿泊料金等

- (1) 宿泊料金
1泊2食付き（税別） 8,500円
- (2) 欠食控除
①朝食、夕食を欠食しようとする時は、前日の7時又は2食前までに申し出る。
②欠食したときは次の料金を控除する。
朝食 500円（税別） 夕食 1,000円（税別）
- (3) 宿泊の変更及び取消し
①定められた宿舍に宿泊しない者があつた場合には、次により宿泊責任者が宿泊取消料を支払うものとする。
この場合、宿泊予納金を宿泊取消料に充当することができる。
②宿泊を取り消す場合は、取消の申し出が宿舍及び大会事務局に到着した期日より下記の違約金を支払うものとする。
ア) 1泊のみの申込の場合
6日前より前日までの場合……………宿泊料金の20%
当日の申し出の場合（午後12時まで）……………宿泊料金の50%
〃（申込全員、無連絡）……………宿泊料金の100%
イ) 2泊以上の申込の場合
宿泊第1日目の取消……………ア)と同じ
宿泊第2日目以降の取消
前日まで……………無料
当日の申し出の場合（午後12時まで）……………宿泊料金の50%
〃（午後12時以降）……………宿泊料金の100%
- (4) 宿泊料金の適用期間
平成28年7月21日（木）夕食より7月24日（日）朝食までとする。尚、3.(2)についても左記の期間とする。
- (5) 昼食弁当 800円（税込）

4. 食 事

各宿舍の得意なサービスで献立は統一しない。昼食は弁当とする。

5. 浴衣の提供

監督、先生、審判の方に提供する。

6. そ の 他

- (1) 宿泊は午後4時より、翌日午前10時までとするが、時間外到着、時間外出発、荷物の一時預けなどに関しては、事前に宿舍と打ち合わせをする。
- (2) 自家用車で来県し、宿舍の駐車場を利用する場合は有料の所もあるので、事前に宿舍と打ち合わせをする。さらに、宿舍申込書特記事項欄にその旨を記入すること。（例：小型車1台、マイクロバス2台など）
- (3) 宿舍決定後の人数等の変更については直接宿舍と連絡を取り、結果について大会事務局へも報告すること。